



2027年度より新カリキュラムが始動 ゼミで学ぶ専門知とデータサイエンスを 融合し、「総合知」を育成する



たかはしのりゆき
高橋徳行学長
1980年慶應義塾大学経済学部卒業。
98年バフソン大学経営大学院経営学修
士課程修了(MBA)。武蔵大学経済学部
長、副学長などを経て、2022年より現職。

SUMMARY

1922(大正11)年、近代を代表する実業家・政治家の根津嘉一郎が創設した旧制武蔵高等学校をルーツに持つ武蔵大学。開学以来続く少人数制のゼミナール教育を特色とし、「ゼミの武蔵」として今日まで高い評価を得ています。近年は国際教養学部やリベラルアーツ&サイエンス教育センターを中心に、グローバル教育と文理融合教育を推進。ロンドン大学とのパラレル・ディグリー・プログラムでは、これまでに60人以上の学位取得者を輩出するなど、国際的に活躍できる人材を育成しています。さらに2027年度からは、全学部で専門分野とデータサイエンスを融合した新カリキュラムを導入。変化の激しい社会に対応できる人材の育成を強化しています。

PICK UP! グローバルな「総合知」を育成する武蔵大学の学び

■2027年度 武蔵大学の一般選抜

- ①シンプルで分かりやすい入試
- 得意な科目を選んでチャレンジできる
 - 共通テスト方式では国公立との併願に適した5科目受験ができる専攻も
- 【一般方式】
- 2科目型、3科目型
 - 2科目グローバル型、3科目グローバル型
- 【大学入学共通テスト方式】
- 前期(3科目、5科目)
 - 後期(2科目、3科目)
- ②英語資格・検定試験の利用を拡大
- 2科目グローバル型、3科目グローバル型で実施
 - 本学試験日当日の英語試験不要で負担が1科目減
- ③全学部の併願が可能
- 1回の受験ですべての学部に出願可能
 - Web出願で併願の手続きもカンタン
 - 2/2(火) 2科目型・2科目グローバル型
 - 2/4(木) 3科目型
 - 2/5(金) 3科目グローバル型
- ④検定料割引制度
- 割引制度により、複数併願の検定料負担を軽減
 - 学部内の併願は無料



【右】外国籍の教員が多数在籍する国際教養学部グローバルスタディーズ専攻
【左】キャリア支援センターでの全局面談(上)／各学部で学びの成果を発表する場が用意されている(下)

経済学部では、既存の6コースに加え「ビジネスアナリティクスコース」を新設します。同学部では「データ分析基礎演習」を必修とし、専門分野に特化したデータサイエンス科目を設置しますが、「ビジネスアナリティクスコース」ではこれらの科目を学部の枠を越えて横断的に学ぶことで実践的な分析力を養います。

人文学部では、学科横断型の「デジタル・ヒューマニティーズ(DH)プログラム」を新設。1年次の「基礎ゼミナール」でAI活用に関する倫理教育を盛り込むほか、さまざまな科目で情報技術との関わり方について修得。DHプログラムではさらに発展させた学びを提供し、「多角的なデータ収集・把握能力」「客観的な情報分析・評価能力」など、データサイエンスの知識を人文学の領域に応用する力を磨きます。

社会学部は2027年度から入学定員を増やし、2学科3専攻体制に移行。社会学科に「社会学専攻」を、メディア社会学科に「メディア社会学専攻」と「情報社会デザイン専攻」を設置します。このうち、情報社会デザイン専攻では、新しい技術やAIなどが社会に与える影響を分析し、社会をどのようにデザインしていくべきかを考えていきます。そのためにもデータ分析の技法やプログラミングなどの知識を修得します。

「現代のさまざまな問題は複雑な要素が絡み合い、一つの専門知識だけでは解決できません。各学部・学科で深めた「専門知」に、総合科目などを通して得た幅広い知識や教養をつなげることで、一人ひとりの学生独自の「総合知」を作り上げることができま。それは就職だけでなくその後のキャリア形成においても大きな力となるはず。本学では、本学の強みであるリベラルアーツ&サイエンス教育やデータサイエンス教育など、多様な学びを提供できる環境を、今後も充実させていきます」(高橋学長)

「ゼミの武蔵」に代表される学びのスタイルや少人数で学ぶ安心感など、本学独自の学習環境は大規模大学にはないものです。キャンパスのある江古田の街は都心からも近く、3つの大学を有する学生街でもあります。また、キャンパス内には大ケヤキや濯川など豊かな自然があり、心解き放たれる開放的な空間でキャンパスライフを送ることが出来ます。ぜひ一度オープンキャンパスや大学見学に足を運んでいただき、さまざまな「武蔵らしさ」を体感してください」と高橋学長はメッセージを送っています。

学通信が調査した「進学校の進路指導教諭が勧める大学ランキング」(2026年度)において、「小規模だが評価できる大学」で10年連続首都圏1位、「面倒見が良い大学」で7年連続首都圏1位に輝いた武蔵大学。その教育の最大の特長は徹底した少人数教育にあります。

「本学では毎年約400種類のゼミを開講し、全学生が少人数形式の授業も含め履修しています。テーマは多彩ですが、共通するのは自ら調べ、考え、発表し、仲間との議論を通じてよりよい結論を導き出す力を養うことです。こうした学びを4年間継続することで、建学の理想である「自ら調べ自ら考える力」が身につく」と高橋徳行学長は説明します。

ゼミは平均13名で構成され、教員や仲間との距離が近く、学生生活を安心して送れる環境が整っています。また、ゼミでは自ら選んだテーマを探究できることも大きな魅力で、文学や社会学、経営学など、各自の関心に沿って理解を深めることができます。

「ゼミは学びの場であり、学生生活の基盤であり、多様な価値観を認め合う場でもあります。日常の中にゼミが根付いている環境が『武蔵らしさ』を創り出しているのです」(高橋学長)

02 今春3月に1期生が卒業
国際教養学部が次なる展開へ
05年に経済学部で開始したパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)は、国際教養学部の経済経営学(EM)専攻に引き継がれ、12年目を迎えました。今年3月には国際教養学部の1期生が武蔵大学を卒業し、5月からはロンドン大学の学位取得に向けた最後の試験に挑戦しました。

「これまで」に本学とロンドン大学の2つの学位を取得した学生は60名にのぼります。現在取得できるロンドン大学の学位は経済学士号と経済経営学士号のみですが、2027年度から始まる新カリキュラムでは、新たに2つの学位の取得を目指すことができます」(高橋学長)

2027年4月に、国際教養学部は「経済・経営・国際関係(EMIR)専攻」「ビジネスデータサイエンス(BDS)専攻」「グローバルスタディーズ(GS)専攻」の3専攻に拡充します。このうちPDPを提供するのはEMIR専攻とBDS専攻です。EMIR専攻では、経済学士号と経済経営学士号に加え「国際関係学士号」(26年申請予定)の学位取得が、BDS専攻では「データサイエンス&ビジネスアナリティクス学士号」の学位取得が目指せます。

入学定員も増やし、経済系の学びに加えて国際関係論やデータサイエンス、統計学など、幅広い学びを展開していきます。

「国際教養学部の設置により外国籍の教員も増え、英語の授業のみで卒業できるカリキュラムも整いました。今後もキャンパスのグローバル化を一層推進していきます」(高橋学長)

03 専門知とデータサイエンスを融合させた教育改革を推進
データサイエンス教育の推進も武蔵大学の大きな特徴です。全学対象の総合科目で数学やデータサイエンスの基礎が学べるほか、2024年度には全学対象の「データサイエンス副専攻」を設置。さらに2027年度からは、各学部の専門教育とデータサイエンスを融合した新たなカリキュラムを導入します。